

平成29年 経済委員会 開催状況（経済部経済企画局国際経済室）

開催年月日 平成29年10月5日  
 質問者 日本共産党 真下 紀子 委員  
 答弁者 経済部長、国際経済室長、国際経済室参事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>一 グローバル戦略の策定について</b>                      ただ今報告のありました北海道グローバル戦略(素案)について、若干質疑をさせていただきたいと思えます。</p> <p><b>(一) 道内企業の海外展開の効果について</b>                      (真下委員)                      この素案の中では、北海道の強みを活かした世界の中の北海道として取り組み、海外展開をしていくと触れておりますけれども、道内企業が、海外進出や貿易によって、がっちり利益を得なければ、活力ある地域経済が実現するとは言いがたいと考えるところです。                      道内企業の海外展開にあたりまして、利益はどうかとお聞きしたいと思いましたが、なかなか、そういうふうなデータがないようなので、海外展開に伴う経済効果を道として、どう捉えているかを伺います。</p> <p>ただ今、答弁にありましたように、道内企業の販路拡大によって、道内での工場が増設されたり、雇用創出につながっているという視点は、非常に重要だと思うんですね。しかし、本当にそうなるかどうかということが今問われているわけです。</p> <p><b>(二) 海外との経済交流の必要性のPRについて</b>                      (真下委員)                      海外との経済交流は、私も必要であるとは思いますが。しかし、一方で、企業の側からは、輸出の方法や手続き、相手の国の規制のあり方、為替変動の動向とその影響や、メリットやリスク、こうしたことに関する正確な情報の入手がなかなか難しいんだというお話も伺っているところであります。                      道としてグローバル戦略の策定を通じて、海外との経済交流について、そのメリットなどを説明していく必要があると思います。私は、リスクについても説明する必要があると思いますけれど、道として、どう取り組んでいくのか伺います。</p> <p>海外展開の機運を高める。そして、海外展開をする。一步踏み出すわけですから、その時に決断できるような情報がなければ、なかなか経済交流としては成り立たないわけです。そこで、今、メリットなどの紹介をするということなんですけど、失敗した事例においてどういう教訓を得たのか。アジアの経済情勢は非常に変わってきています。めまぐるしい変化を遂げているわけですから、そうしたことに対する正確な情報、今後の見通し等についても情報提供していくことが非常に重要なことだと思います。</p>	<p>(国際経済室長)                      企業の海外展開の効果についてでございますが、人口減少による国内市場の縮小が懸念される中、本道の強みである食や観光などの分野におきまして、海外からの需要を獲得していくことは、地域経済の活性化を図る上で重要と認識しております。                      このため、道では、これまで、海外展開に取り組む企業の裾野の拡大をはじめ、輸出品目の多様化や海外販路の開拓に向けた支援等を行ってきているところであり、輸出に取り組む道内企業からは、海外の販路拡大に伴う道内における工場の増設などにより、生産基盤の強化や生産体制の高度化、さらには、雇用の創出につながっているという声も聞かれているところでございます。</p> <p>(国際経済室参事)                      事業者に対する周知についてであります。経済交流の推進にあたりましては、海外展開の具体的手法や道内企業の成功事例を紹介するとともに、物流や商流、検疫といった障壁などの課題についても理解を深めていただくことが重要であると考えておりますことから、道内各地において実施するセミナーなど、さまざまな機会を活用し、企業や経済団体などに対し幅広く周知するなどして、海外展開に挑戦する機運を広げてまいります。</p>

### (三) 道内企業の海外展開への支援について

(真下委員)

北海道グローバル戦略には、経済交流を推進するための支援策など、具体的な取組の記載がないように私は感じました。道内企業の海外展開について、道としてどのように支援をしていくのか伺いたいと思います。

海外進出の教訓として、産業が空洞化していったこと。それから、雇用が、海外での雇用につながってしまって、国内の雇用が減少してしまう。こうしたことが教訓としてあるんだと思いますね。そうならないように、道内にそうした経済波及効果が高まるような戦略にしていきたいと思っていますので、質疑をさせていただきました。

(経済部長)

海外との経済交流の拡大に向けた取組についてですが、北海道グローバル戦略は、グローバル化が急速に進展する中、本道が目指す姿を事業者の皆様と共有いたしまして、食や観光といった経済分野などの国際関連施策を効果的に展開していくための、基本的な指針として策定するものでございます。

具体的な事業の検討や推進にあたりましては、庁内にプロジェクトチームを設置いたしまして各部横断的に取り組むことといたしておりまして、各分野の施策を相互に連携させながら、今ご指摘のありました情報提供も含めまして、企業の海外展開をきめ細やかに支援するなど、本道経済の活性化に向けて海外との経済交流の拡大に積極的に取り組んでまいりたいと考えてございます。